公益社団法人 認知症の人と家族の会

理 念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穏に続けられなければならない。

認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助けあって、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。

（2009年6月6日制定）

●あなたも「家族の会」へ

「家族の会」は1980年に結成、全国46都道府県に支部があり、会員は10,000名を超えます。

家族、本人、専門職の方など、どなたでも入会いただけます（年会費5,000円）。

活動

- ●つ ど い…全国の支部で本人や家族が集まり、悩みや喜びを話し合っています。
- ●会　　報…介護体験、役立つ制度情報など、勇気の出る会報を発行しています。
- ●電話相談…本部と全国の支部で年間のべ15,000件の相談に応じています。
- ●そ の 他…国・自治体への提言・要望や講演会・研修会を行っています。

「家族の会」へのご寄付は税控除が受けられます

公益社団法人 **認知症の人と家族の会**　代表理事　髙見　国生

〒602-8143　京都市上京区堀川通丸太町下る京都社会福祉会館2階
TEL 075-811-8195　FAX 075-811-8188
ホームページ　http://www.alzheimer.or.jp 家族の会 検索

認知症の電話相談　0120-294-456（月～金10:00～15:00 祝日除く）

厚生労働省 平成23年度 老人保健健康増進等事業

9月21日は
世界アルツハイマーデー

あなたの身近に
認知症の人はいませんか

山崎奈保子さん（京都市、77）は3年前に診断されました。夫の良昭さん（76）と一緒に毎月の「家族の会」つどいに参加しています。良昭さんは「晴れ晴れし、介護の苦痛がどこへやら飛んでいくみたいです」と語ります。
（山科川の遊歩道で）

認知症 あなたがつなぐ 支援の輪

―「ぼけ」ても安心して暮らせる社会を―

公益社団法人 **認知症の人と家族の会**
Alzheimer's Association Japan

世界アルツハイマーデー（9月21日）

国際アルツハイマー病協会（ADI：世界76カ国加盟）が認知症への理解をすすめ、本人や家族への施策が充実されることを目的に、世界中で啓発活動を行います。日本では、「家族の会」がこのリーフレットの街頭配布や講演会（認知症サポーター養成講座）等を行う他、各種団体による行事が行われています。（「家族の会」は1992年にADI加盟）

国際アルツハイマー病協会 提唱
厚生労働省 後援
2011年版

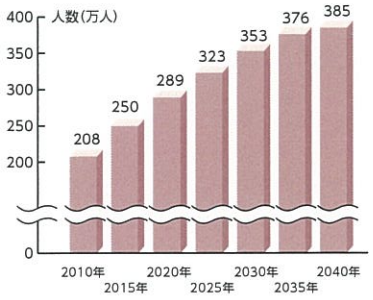
認知症の人も介護家族もしあわせに

◆認知症は身近な問題です

認知症の人は現在208万人を超え、2040年には385万人になると見込まれています。高齢者だけでなく、40~50歳代で発症する人もあり、65歳未満の認知症の人は約4万人と推計されています。

認知症は私たちにとって、とても身近な問題です。

◎認知症の人の数



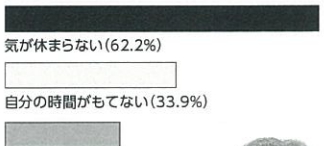
厚生労働省研究会報告

◆気が休まらない介護家族

認知症の人の介護は24時間365日気が休まらず、自分の時間が持てないなど大変です。

介護家族自身も心身の不調をきたすようになり、最近の「家族の会」の電話相談では、“うつ”と思われる家族からの相談が増えています。

◎介護者の悩み

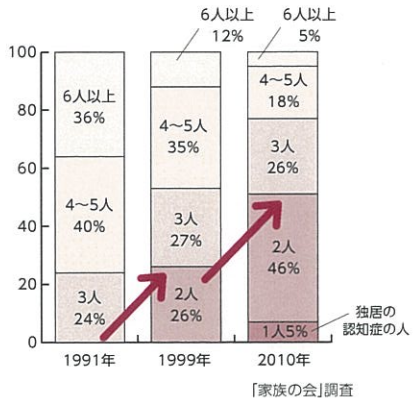


「家族の会」調査

◆増える“老老”“遠距離”介護

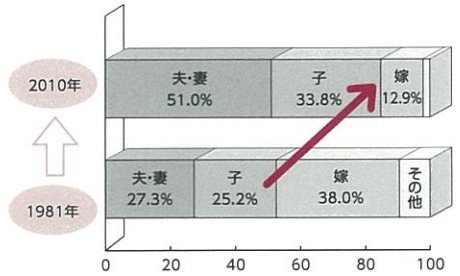
かつてに比べ同居家族の人数が大幅に減り、夫婦での介護、子どもによる親の介護が増えたため、老老介護や男性介護者が多くなりました。遠距離介護も増えています。このような中、介護家族の心身のケアや、暮らしを支える施策がより必要になっています。

◎同居家族数の変化



「家族の会」調査

◎主な介護者の変化



「家族の会」調査

「家族の会」は国に要望しています

家族が介護による社会的な不利益を被ることなく、仕事・余暇・教育・社会参加ができるよう、「家族支援」については以下の内容を要望しています。

1. 家族介護者の「生活の質(QOL)」の保障
2. 多様な就業形態の工夫や介護休暇制度の活用促進
3. 相談機関の研修に「介護者の心のケア」を含める
4. 介護保険の利用料をすべて医療費控除の対象に
5. 遠距離介護の交通費負担軽減の実施　等

［要望書(2011年4月 5分野45項目)全文は「家族の会」ホームページに掲載しています。］

◆あなたも認知症の人と介護家族の理解者に

認知症の人を介護する家族にとって、介護保険制度や社会福祉施策が改善、充実されることと、まわりの人たちの理解と支援があることが非常に大切です。

話を聞いたり、相談にのるなど、介護家族が孤立しないように、あなたの身近なところで、支援の輪をつないでください。

このマークを見かけたら、温かく見守ってください。

介護中であることをまわりに知ってもらうための目印です。
「家族の会」静岡県支部の提案で静岡県が作成しました。